

# 刑 法

## 注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は 1 枚だけ配付します。
- III 解答にあたっては、黒のボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1 行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は 80 分です。
- VII 問題は 1 ページにあります。

## 刑 法

派遣社員 X (女性 28 歳) はシングルマザーとして長男 A (3 歳) を養育していたが、数ヶ月前に知り合ったフリーターの Y (男性 21 歳) と交際を始め、同棲することになった。当初は Y も A を可愛がっていたものの、時折反抗的な態度を見せる A に次第に苛立ちを覚えるようになり、疎ましく思うようになっていた。ある日、Y が帰宅したところに A が泣き叫んでいたため、パチンコで負けてイライラしていた Y は、A の顔を手拳で一度殴打した。X は Y のこうした行動に驚いたものの、注意をすれば自分が殴られるかもしれないと思い、無関心な態度を装ってその場をやり過ごそうとした。

Y は A が殴打によって一層激しく泣き叫んだのを聞いて激高し、更に殴る蹴るの暴行を加えた。Y は次第に反応がなくなっていく A の状況を認識しつつも更に暴行を続けたところ、A はこれらの暴行により全身に打撲傷を負い、意識混濁、失禁等の重篤な症状に陥った。Y は、内心「ちょっとやり過ぎたようだ、このまま暴行を加えれば死ぬかもしれない」と思い、X に「お前の息子だろ、俺は知らないからな」と言い残してそのまま家を出て行った。

X は Y の暴行により重篤な状態に陥った A を認識しつつも救急車を呼ぶと騒ぎが大きくなって大変なことになると思い、また A をこのまま養育していくことにも疲れ果て、特段の治療を受けさせることもなく、翌日の朝、A を家に放置したままで出勤した。その日の昼頃、A は前日の暴行に起因する全身打撲によって死亡したが、A が重篤な状態に陥った前日夜の段階で X が A をすぐに病院に連れて行き、適切な医療措置を受けさせていれば、十中八九 A は助かったであろうとの鑑定結果が出た。

X、Y の罪責について論じなさい。